

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○つながりを大切にし、安全・安心・成長できる学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が生徒一人ひとりの状況を把握し、共通理解を図り、個に応じた指導を工夫し、分かる授業の実践を目指します。 ・挨拶や人の話を聴く態度と、自他を大切にする思いやりの心を育てます。 ・誰もが安心して生活できるように声をかけ、地域や保護者と連携して支えていきます。 ・安全な学校環境づくりに取り組みます。 ・地域活動への参加・連携の方法を工夫し、地域とのつながりを積極的に強めていきます。 ・夢の実現に向けて努力し、成長していこうとする意欲を高めていきます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p style="text-align: center;">豊かな心</p> <p>担当 道徳・人権</p>	<p>・学校生活の中で、自分自身を見つめ、他者を思いやり、自分を取り巻く環境を慈しむ心を育てる。</p>	<p>・昨年度に引き続き、道徳授業の研修会を通して、道徳の授業づくりや指導方法および評価の工夫について学びを深めていく。</p> <p>・道徳の教科化に伴い、さまざまな教材を活用する。</p> <p>・学校生活のさまざまな場面を、道徳の学習に役立てる機会として取り入れる</p>

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

挨拶がよくでき、明朗快活で、授業の振鈴に従った行動ができる。また、いろいろな行事や活動を通して、達成感や思いやりの心が育っている。しかし、その反面、いじめの問題や友人関係のトラブルも起きている。また不登校生徒も増えつつある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・毎年道徳授業研修会を行う。（昨年度の取り組みを活かす。）
- ・指導方法を研修し、道徳の時間の指導力の向上を図る。【視点1】
- ・学校行事、体験活動や日々の学校生活で実体験した出来事を生かして道徳指導を行う。【視点2】

指針2 体験学習の充実

- ・他者とのかかわりを通して人間関係調整力を高めるために、「1年遠足」「2年自然教室」「3年修学旅行」などの校外学習を充実させる。【視点3】
- ・集団や社会の一員であることを実感させ、自尊感情や望ましい勤労観、職業観を育てるために、「1年職業講話」「2年職場体験学習」「3年上級学校体験」などのキャリア教育を推進する。

【視点4】